

〈学校・家庭の取り組み〉

- 依存の特性からして、1日の中で全くネットを使わない時間を作る
- ルール作りには子どもたちの意向を尊重する

将来、自分でコントロールして賢くインターネットを使用する大人になるための大事な練習期間です

ルール作りのポイント(1)

①親の名義で購入し、子どもに貸し出す形に

⇒スマホPC・タブレット端末に関しては、子ども専用の端末を用意するのではなく、親の名義で購入したものを、一定のルールや条件をつけた上で子どもに貸し出すようにしましょう。

⇒PCやルーターなどのパスワードも親が管理しましょう

②ルールは買う前に、親子一緒に決める

⇒ルールは親が一方向的に決めてしまうのではなく、守る方（子ども）も、どうしてそのようなルールが必要なのか理解し納得して決めるようにしましょう。

ルール作りのポイント(2)

③使用場所を決める

⇒子供部屋（自室）での使用は避け、リビングや家族の目の届くところで使用しましょう。

⇒充電器は親が預かり、充電するときはリビングか親の部屋で行うようにしましょう

④使用時間を決める

⇒たとえば「1日2時間、夜9時まで」というように、具体的に決めましょう

⇒食事の時や外出時など、使用してはいけない時間帯も決めましょう。

ルール作りのポイント(3)

⑤利用サービスについて決める

⇒フィルタリングを利用し、どんな内容のサービスは利用してはいけないのか話し合しましょう。

⇒アプリやサービスをダウンロードするときは、親の許可を必要とするようにしましょう。

⑥使用金額について決める

⇒有料のゲームやアプリをダウンロードしたり、課金をしたりする際には、限度額を決めておき、小遣いの範囲に留めさせましょう。

⇒親に無断でオンラインショッピングや決済をさせないようにしましょう。

ルール作りのポイント(4)

⑦書面に残す

⇒守れなかったときはどうするかまで決め、必ず書面に残しておきましょう。

⇒冷蔵庫など、目につくところに貼っておきましょう。

⑧家族もルールを守る

⇒子どもだけでなく、親もルールを守りましょう。

⇒家族や周りの人とのネットを介さないコミュニケーションを大切にしましょう。